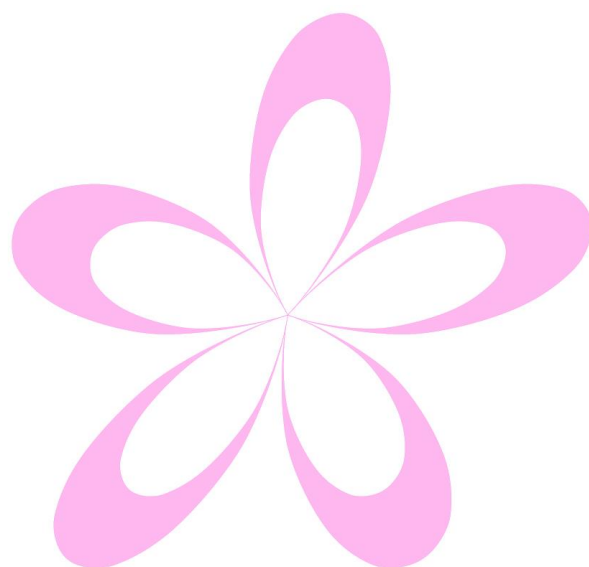


# 令和3年度 出張講義のご案内

経営学部	経営学科
福祉健康学部	福祉学科
福祉健康学部	こども学科
福祉健康学部	健康スポーツ科学科
看護学部	看護学科



**福山平成大学**  
FUKUYAMA HEISEI UNIVERSITY

#### ◇出張講義の目的

福山平成大学出張講義は、本学教員が、高等学校からの要請に応じて専門分野の講義を行い、高校生が大学の教育や研究に触れることによって大学への関心を高めるとともに、大学と高等学校との教育的連携を深めることを目的としています。この「福山平成大学出張講義」を積極的にご活用いただき、進路選択の支援にお役立っていただければ幸いです。

#### ◇申し込みについて

- 「出張講義」を希望される場合は、講義実施 1 か月前までに下記のお問い合わせ先まで連絡をお願いします。本紙を参照の上、希望学科・テーマ（担当教員）等を決定してください。
- 希望については、できる限り対応させていただきますが、希望派遣教員の都合等により派遣できない場合もございます。
- 特にテーマ（担当教員）を選択されない場合、学部・学科名の希望のみで、派遣教員を選出することも可能ですが高校側での開催趣旨に即した教員を派遣するため、できる限りのご希望をお知らせください。
- 本学の行事のため希望の期日に教員を派遣できない場合もございますのでご了承ください。
- 派遣希望教員と日程調整をし、内諾が得られましたら、連絡いたします。

#### ◇お問い合わせ先

福山平成大学 入試室

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表)

FAX 084-972-7771

E-mail nyushi@heisei-u.ac.jp

## 経 営 学 部

### 経営学科

氏 名	テ ー マ
川久保和雄 (教 授)	「情報」って何
江口 圭一 (教 授)	職場での人の心理と行動
渡辺 清美 (教 授)	ビジネス英語実践学習
福井 正康 (教 授)	パソコンで学ぶ統計分析の話
小玉 一樹 (教 授)	働くということ
市瀬 信子 (教 授)	中国語からたどるグローバル社会
佐藤 真司 (教 授)	ICT 社会の進展と情報教育の必要性
堀越 昌和 (教 授)	現代は企業の時代？
芝田 全弘 (教 授)	会社の通知簿を読み
尾崎 誠 (准教授)	暗号の仕組み
本田 良平 (准教授)	英語の歌の楽しみ方
岩本 敏裕 (講 師)	日本企業の経営戦略とは
渡邊 正樹 (講 師)	商品開発のポイント
宗像 智仁 (講 師)	会社の中での会計の役割

## 福祉健康学部

### 福祉学科

氏 名	テ ー マ
岡部真智子 (教 授)	福祉と住まいーサザエさんー家から学ぶ高齢者向け住居ー
向井 通郎 (教 授)	福祉の仕事ー資格と専門性ー
大中 章 (教 授)	カウンセリングとは何か？
中司登志美 (教 授)	認知症カフェを始めませんか？ー始め方と効果についてー
藤井 宏明 (教 授)	介護技術への招待～身体性から理解するケア
中嶋 裕子 (教 授)	「私」を知ろう「他者」を知ろうー日常の心理と精神保健ー
杉本 浩章 (教 授)	ふくし を学ぼう 私たちの生活と福祉・健康
浅井 智雄 (准教授)	英語を用いたコミュニケーション活動ー読むことを起点として
上野 善子 (准教授)	里親ってなァに？あの子はどうして名字が違うの？
荻野 太司 (准教授)	コウモリの町から考える映画バットマンの犯罪と社会保障
石橋 亜矢 (講 師)	老化って？ ～こころとからだの変化～
崔 銀珠 (講 師)	自分らしく生きるー社会福祉の心
武村 淳司 (講 師)	福祉用具を作ってみよう！

## 福祉学科独自のプログラム（詳細な時間等に関しては別紙参照）

テ－マ①：平大生がつくった FUKUSHIー ASOBI 体験講座

担当教員：福祉学科 教員複数名

内 容：福祉学科では、小・中・高校生が福祉を身近に感じ、考えることができるようにと、オリジナルな福祉教材「神経衰弱ゲーム」（2種類）「福祉カルタ」「YES NO ゲーム」「伝言ゲーム」を開発しました。アクティブラーニングとして取り組んでいただけます。

テ－マ②：コミュニケーションロボット・福祉用具体験講座

担当教員：福祉学科 教員複数名

内 容：今後の介護現場に期待されるコミュニケーションロボットや福祉用具について、解説を聞きながら、実際に手に触れて学ぶことができます。ご要望があれば、自助具を手作りすることも可能です。

※新型コロナウイルス感染症への配慮のため、例年実施しています介護食の体験講座は休止いたします。

テ－マ③：高校生とともに考える災害福祉講座

担当教員：福祉学科 教員複数名

内 容：避難所運営ゲーム（HUG）や災害対応カードゲーム（クロスロード）を使って、大学生スタッフとともに災害時の取り組みをアクティブラーニングの手法で学びます。

テ－マ④：福祉・Web出前講座

担当教員：福祉学科 教員複数名

内 容：福祉や家庭科、総合学習にかかる授業等で利用いただけます。高校の先生がご希望のテーマや福祉学科教員による出張講義のテーマなど、福祉や健康等に関する幅広い内容の講座を展開します。また研究手法の説明や課題研究への助言など、研究にかかる内容についてもお手伝いができます。

※授業内容は、相談に応じます。

※ZOOM等のオンライン形式で行います。本学側がホストを担当します。

## 福祉学科独自のプログラムについて

福祉学科では、各教員による出張講義とは別に4つの講座を企画しました。内容は、①「平大生がつくった FUKUSHI-ASOBI 体験講座」、②「コミュニケーションロボット・福祉用具体験講座」、③「高校生とともに考える災害福祉講座」、④「福祉・Web出前講座」です。本講座の申込み・ご質問等については「福山平成大学福祉学科」([kikaku-f@heisei-u.ac.jp](mailto:kikaku-f@heisei-u.ac.jp))までご連絡をお願いします。①～③の講座は、出前講座形式のみでなく、ご要望に応じて福山平成大学での講座開催も可能です。講座の時間や内容等は、ご要望に応じて柔軟にスケジュールを検討させていただきます。

### ①「平大生がつくった FUKUSHI-ASOBI 体験講座」講座概要

本講座では、①本講座の説明、②FUKUSHI-ASOBI の体験、③ふりかえり・本日の講座のまとめ、のながれで進めていきます。FUKUSHI-ASOBI は5種類のカードゲームから成ります。授業のねらいにあわせて、ゲームを選択いただけます（選び方や授業の展開方法の助言も行います）。

教材のみの貸出し、学生・教員による出前講座のいずれも可能です。所要時間は自由に設定できます。

「平大生がつくった FUKUSHI-ASOBI 体験講座」のスケジュール（例） 講座時間 50分

• 本日の講座説明	10:30 ~ 10:40 (10分)
• FUKUSHI-ASOBI の体験（伝言ゲーム、神経衰弱）	10:40 ~ 11:00 (20分)
• ふりかえり、本日の講座のまとめ	11:00 ~ 11:20 (20分)

### ②「コミュニケーションロボット・福祉用具体験講座」講座概要

本講座では、①本講座の説明、②コミュニケーションロボットの説明、③コミュニケーションロボットとのふれあい、④福祉用具のグループワーク、⑤本日の講座まとめ、の流れで進めていきます。体験的に学習していただくことが可能です。

「コミュニケーションロボット・福祉用具体験講座」のスケジュール（例） 講座時間 50分

• 本日の講座説明	10:30 ~ 10:35 (5分)
• コミュニケーションロボットの説明	10:35 ~ 10:40 (5分)
• コミュニケーションロボットとのふれあい	10:40 ~ 10:55 (15分)
• 福祉用具のグループワーク	11:00 ~ 11:10 (10分)
• 本日の講座まとめ	11:10 ~ 11:20 (10分)

### ③「高校生とともに考える災害福祉講座」講座概要

本講座では、福祉避難所運営ゲーム(HUG)や災害対応カードゲーム(クロスロード)のいずれかを体験します。HUGとは、避難所(H)運営(U)ゲーム(G)を意味し、災害時の避難所での対応方法についてゲームを通じて学びます。

クロスロードでは、カードに書かれた災害時の事例を自らの問題として考え、YES か NO かで自分の考えを示し、他のメンバーと意見交換を行いながら理解を深めていきます。

HUG とクロスロードでは、講座の所要時間が異なります。HUG は 110 分、クロスロードは 50 分です。どちらかをお選びください。いずれもアクティブラーニングの方法で災害時の対応について学び、考えを深めることができます。

「高校生とともに考える災害福祉講座（HUG）」のスケジュール（例） 講座時間110分

・災害福祉・HUG の説明	10:30 ~ 10:45 (15分)
・HUG 実施 ※休憩を含む	10:45 ~ 12:05 (80分)
・HUG 実施後振り返り（各グループの感想発表）	12:05 ~ 12:15 (10分)
・災害福祉のまとめ	12:15 ~ 12:20 (5分)

「高校生とともに考える災害福祉講座（クロスロード）」のスケジュール（例） 講座時間50分

・クロスロードの説明	10:30 ~ 10:40 (10分)
・クロスロード実施	10:40 ~ 11:00 (20分)
・クロスロード実施後振り返り（参加者の感想発表）	11:00 ~ 11:15 (15分)
・災害福祉のまとめ	11:15 ~ 11:20 (5分)

④「福祉・Web出前講座」講座概要

こちらの講座は、Web 上の出前講座になります。講座の内容や所要時間については、ご相談に応じます。ZOOM 等の設定・操作は、大学側が行いますので、ご負担なく利用いただけます。

## 福 祉 健 康 学 部

### こども学科

氏 名	テ ー マ
永井 純子 (教 授)	健康のお話
古賀 一博 (教 授)	教育学研究と教員養成
三藤 恭弘 (教 授)	「物語づくり」で言葉の力を育てる
田辺 尚子 (教 授)	日本人はなぜ英語が苦手なのでしょうか？
川島 範章 (教 授)	心理学のお話
中原 大介 (教 授)	「人を支える仕事」の魅力と求められる力について
伊藤 憲孝 (教 授)	ピアノで巡る音楽の旅
足立登志也 (准教授)	先生の仕事って？
小野 順子 (准教授)	乳幼児の発達の特徴と保育
西川 京子 (准教授)	教師学入門～小学校教師の7つの顔にチャレンジしてみよう～
田中 宏和 (准教授)	インターネットと法
矢野川祥典 (講 師)	「オリンピック・パラリンピック」と「福祉」との意外な関係について
佐伯 岳春 (講 師)	子どもの可能性を引き出すレッジョ・エミリア・アプローチについて
黒木 貴人 (講 師)	諸外国との比較から日本の教育を考えてみよう



## 福 祉 健 康 学 部

### 健康スポーツ科学科

氏 名	テ ー マ
石橋 勇 (教 授)	スポーツ選手のコンディショニング
楠本 恭久 (教 授)	心と身体と呼吸と
沖増 英治 (教 授)	活性酸素と医食同源 -健康は、食べ物から-
磨井 祥夫 (教 授)	スポーツのバイオメカニクス
中村 雅子 (教 授)	「喫煙の是非について」-ディベートを用いて-
松田 広 (教 授)	現代スポーツの特徴から
森澤 桂 (教 授)	運動上達の道のり
入澤 雅典 (教 授)	日本の溺死率は、同じ島国のイギリスの 5 倍って知ってる?
上村 崇 (教 授)	情報倫理学 -ネット社会のルールを考える-
三宅 幸信 (准教授)	アクティブラーニング入門としての、グループワークトレーニング
松井 弘志 (准教授)	バレーボールの歴史と近代バレーボールの特徴
高本 健彦 (准教授)	健康づくりと運動・スポーツ
若井 研治 (講 師)	プレーモデルとプレー原則の設定
河野 洋 (講 師)	「アーバンスポーツ」について
藤本 太陽 (講 師)	実力発揮のメンタルトレーニング

## 看護学部

### 看護学科

氏 名	テ ー マ
木宮 高代 (教授)	認知症について正しく理解しよう～認知症サポータになろう～
岡 和子 (教授)	自分の体を知ろう (体温・脈拍・血圧について) (性教育)
安達 直子 (教授)	いのちの大切さ、性の健康
後藤満津子 (教授)	「こころ」について考えてみよう
齋藤 智江 (教授)	感染対策と健康な体作り
田村 美子 (教授)	“看護の魅力” 看護師の仕事とは？
井上 徹 (教授)	「眼 (め)」の話
長野扶佐美 (准教授)	子どもの時から身につけよう ～生活習慣病予防～
藤田 晶子 (准教授)	障害とユニバーサルデザイン
伊東 美佳 (准教授)	命を救う心肺蘇生法 ～倒れた人を発見！あなたは助けることができますか？～
大塚 千秋 (准教授)	がんという病気を知ろう
内田 史江 (准教授)	看護師が行う創傷管理を知ろう ～感染のコントロール～
齋藤 公彦 (准教授)	保健師の仕事
山本千佳子 (講師)	高齢者と若者について
福田久仁子 (講師)	こころとからだのリラクゼーション
佐竹 潤子 (講師)	親になる前に学ぶ子どものホームケア
藤原 弘子 (講師)	助産師の仕事について
高垣由美子 (講師)	予防の大切さを知っていますか～身近に起こる熱中症～
大元 雅代 (講師)	医療中のアピアランス (外見) ケア
平川 幹子 (講師)	生活習慣病について知ろう！
木場しのぶ (講師)	免疫力アップ

## 看護学科独自のプログラムについて

テーマ：認知症を正しく理解、高齢者を支えていこう「認知症サポーター養成講座」

担当教員：教授 木宮高代

内容：認知症を正しく理解し、「認知症サポーター」になろう

### 「認知症サポーター養成講座」

厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)を関係11省庁と共同で策定しました。認知症高齢者に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座は、小、中、高等学校の生徒、様々な方が受講することができます。本学では、看護学科教員による「認知症サポーター養成講座」を各高等学校で開催し、一人でも多くの高校生に「認知症サポーター」になっていただき、これからのキャリアの第一歩につなげていただきたいと思います。

認知症サポーターは①認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない、②認知症の人や家族に対して温かい目で見守る、③近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する、④地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる、⑤まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍することなどが期待されています。

本講座の申込み・ご質問等の問い合わせは「福山平成大学入試室」までご連絡をお願いします。

講座の時間や内容等は、ご要望に応じて柔軟にスケジュールを検討させていただきます。

認知症サポーター養成講習のスケジュール(例) 講習時間は90分です。

・キャンペーンビデオ	10:30 ~ 10:45 (15分)
・認知症とはなにか	10:45 ~ 11:15 (30分)
・診断・治療、予防について	11:15 ~ 11:35 (20分)
・サポーターとしてなにができるか	11:35 ~ 11:55 (20分)
・××市の相談窓口(地域包括支援センターの紹介)	11:55 ~ 12:00 (5分)
・修了証 (全国協議会から認知症サポーターカード・リング授与)	終了

表



裏



【認定カード】

【オレンジリング(ハンドリング)】